

【主な医薬品とその作用】

この試験問題における医薬品成分名等は、厚生労働省「試験問題の作成に関する手引き（平成21年6月一部修正）」に記載されている用語を使用しています。

問61

以下の記述に当てはまる漢方処方製剤として、最も適切なものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

かぜのひき始めから数日たって微熱があり、寒気や頭痛、吐き気がする等のかぜの後期の症状に適するとされる。

- 1 かっこんとう 葛根湯
- 2 しょうせいりゅうとう 小青竜湯
- 3 けいしとう 桂枝湯
- 4 さいこけいしとう 柴胡桂枝湯
- 5 まおうとう 麻黄湯

問62

以下のかぜ薬に配合される成分のうち、解熱鎮痛成分の組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア セネガ
- イ エテンザミド
- ウ リン酸コデイン
- エ イソプロピルアンチピリン

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問63

かぜ薬に配合される成分とその配合目的の関係について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	成分	配合目的
ア	グアヤコールスルホン酸カリウム	－ 痰 ^{たん} の切れを良くする。
イ	塩酸ジフェンヒドラミン	－ 炎症による腫 ^は れを和らげる。
ウ	ヒベنز酸チペピジン	－ 咳 ^{せき} を抑える。
エ	ブロメライン	－ 鼻粘膜の充血を和らげ、気管・気管支を拓げる。

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問64

一般用医薬品の解熱鎮痛成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア アスピリンは、他の解熱鎮痛成分に比べて胃腸障害が起こりやすいとされている。
- イ サザピリンは、ピリン系の解熱鎮痛成分である。
- ウ アセトアミノフェンは、まれに重篤な副作用として肝機能障害を生じることがある。
- エ イブプロフェンは、消化管粘膜の防御機能を高めるため、消化管に広く炎症を生じる疾患の既往歴がある人への使用に適している。

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 6 5

カフェインに関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 腎臓での水分の再吸収を抑制するとともに、膀胱括約筋^{ぼうこう}を弛緩させる働きがあり、尿量の増加をもたらす。
- イ 胃液の分泌を抑制させる作用がある。
- ウ 脳に軽い興奮状態を引き起こす作用を示す。
- エ 反復して摂取しても習慣性はない。

- 1 (ア、ウ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (イ、エ)

問 6 6

以下の泌尿器用薬の成分のうち、尿路の殺菌消毒効果を期待して用いられるものとして、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 ブクリョウ
- 2 ソウハクヒ
- 3 キササゲ
- 4 サンキライ
- 5 ウワウルシ

【主な医薬品とその作用】

問 6 7

睡眠障害とその改善薬（催眠鎮静薬）に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 塩酸ジフェンヒドラミンは、慢性的に不眠症状がある人への使用に適している。
- イ ブロムワレリル尿素を含有する催眠鎮静薬とアルコールを摂取すると、その効き目が半減するおそれがあるため、服用する場合は飲酒を避ける必要がある。
- ウ 睡眠障害が慢性的に続く場合は、鬱病等の精神神経疾患や催眠鎮静薬の使いすぎによる不眠等の可能性もあるため、医療機関の受診が望ましい。
- エ 加味帰脾湯、抑肝散などの漢方処方製剤は、症状の原因となる体質の改善を主眼としているので、比較的長期間（1ヶ月位）服用されることがある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	正

問 6 8

以下の呼吸器官に作用する薬の成分のうち、気管支を拡げる成分の組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア リン酸ジヒドロコデイン
- イ 塩酸メチルエフェドリン
- ウ グアイフェネシン
- エ 塩酸メトキシフェナミン

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 69

口腔咽喉薬、含嗽薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 口腔咽喉薬・含嗽薬は、成分の一部が口腔や咽頭の粘膜から吸収されて循環血流中に入り、全身的な影響を生じることがある。
- イ 含嗽薬は、口腔及び咽頭の殺菌・消毒・洗浄、口臭の除去等を目的として、用時水に希釈又は溶解してうがいに用いる、又は患部に塗布した後、水でうがいする外用液剤である。
- ウ トローチ剤やドロップ剤は、有効成分が口腔内や咽頭部に行き渡るよう、口中で噛み砕いて飲み込むことが重要である。
- エ 口腔咽喉薬は、口腔内又は咽頭部の粘膜に局所的に作用して、それらの部位の炎症による痛み、腫れ等の症状の緩和を主たる目的とするもので、殺菌消毒成分及び鎮咳成分や去痰成分が配合されている。

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問 70

以下の成分のうち、中枢神経系に作用して咳を抑える成分の組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 塩酸エチルシステイン
- イ 塩酸トリメトキノール
- ウ 塩酸ノスカピン
- エ 臭化水素酸デキストロメトルファン

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 7 1

胃腸に作用する薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 健胃薬は、胃液の分泌亢進による胃酸過多や、それに伴う胸やけ、腹部の不快感、吐き気等の症状を緩和することを目的とする医薬品である。
- イ 消化薬は、唾液や胃液の分泌を促して胃の働きを活発にすることを目的とする医薬品である。
- ウ 一般用医薬品には、様々な胃腸の症状に幅広く対応できるよう、制酸、胃粘膜保護、健胃、消化、整腸、鎮痛鎮痙、消泡等、それぞれの作用を目的とする成分を組み合わせた製品もある。
- エ 健胃薬、消化薬、整腸薬には、医薬部外品として製造販売されている製品もある。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 7 2

胃粘膜保護・修復成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア アルジオキサはアルミニウムを含む成分であるため、透析を受けている人では使用を避ける必要がある。

イ ソファルコンは、まれに重篤な副作用として肝機能障害を生じることがある。

ウ テプレノンには、副作用として腹部膨満感、吐き気、腹痛、頭痛、皮下出血、便秘、下痢、口渇が現れることがある。

エ スクラルファートは、体内で代謝されてトラネキサム酸を生じることから、血栓のある人、血栓を起こすおそれのある人では、生じた血栓が分解されにくくなることが考えられる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	正

【主な医薬品とその作用】

問 7 3

以下の記述に当てはまる漢方処方製剤として、最も適切なものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

胃腸が弱く、食欲がなく、みぞおちがつかえ、疲れやすく、貧血性で手足が冷えやすい人における、胃炎、胃アトニー、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐おうに適すとされる。まれに重篤な副作用として、肝機能障害を生じることが知られている。

- 1 あんちゅうさん 安中散
- 2 にんじんとう 人参湯
- 3 へいいさん 平胃散
- 4 ましにんがん 麻子仁丸
- 5 りっくんしとう 六君子湯

問 7 4

腸の薬に配合される代表的な成分とその期待される作用の関係について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	成分	作用
ア	アセンヤク	－ 整腸作用
イ	次硝酸ビスマス	－ 殺菌作用
ウ	クレオソート	－ 収斂 <small>れん</small> 作用
エ	乳酸カルシウム	－ 吸着作用

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 7 5

腸の薬の相互作用に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 駆虫薬とヒマシ油を併用すると、駆虫成分が腸管内にとどまらず吸収されやすくなり、全身性の副作用を生じる危険性が高まるため、併用は避けることとされている。
- イ 生菌成分が配合された整腸薬に、腸内殺菌成分が配合された止瀉薬が併用された場合、生菌成分の働きが腸内殺菌成分によって弱められる。
- ウ 腸内細菌による分解を受けて作用する成分が配合された瀉下薬に、生菌成分が配合された整腸薬が併用された場合、瀉下作用が強く現れたり、副作用を生じやすくなるおそれがある。
- エ 複数の瀉下薬を併用すると、激しい腹痛を伴う下痢や下痢に伴う脱水症状等を生じるおそれがあり、瀉下薬を使用している間は、他の瀉下薬の使用を避けることとされている。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	誤
4	誤	誤	正	誤
5	誤	誤	誤	正

【主な医薬品とその作用】

問 7 6

以下の記述に当てはまる駆虫成分として、最も適切なものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

回虫に痙攣^{けいれん}を起こさせる作用を示し、虫体を排便とともに排出させることを目的として用いられる。

- 1 サントニン
- 2 カイニン酸
- 3 リン酸ピペラジン
- 4 パモ酸ピルビニウム
- 5 塩酸ロペラミド

問 7 7

血中コレステロールと高コレステロール改善成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 低密度リポ蛋白質^{たん}（LDL）は、末梢組織のコレステロールを取り込んで肝臓へと運ぶリポ蛋白質^{たん}である。
- イ コレステロールは、水に溶けやすい物質で、その産生及び代謝は、主として腎臓で行われる。
- ウ ビタミンE（酢酸トコフェロール）は、コレステロールから過酸化脂質の生成を抑える。
- エ 大豆油不飽和^{けん}化物（ソイステロール）には、末梢組織におけるコレステロールの吸収を抑える働きがあるとされる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 78

^{かん}浣腸薬の注入剤の用法に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 薬液の放出部を肛門に差し込み、薬液だまりの部分を絞って、薬液を押し込むように注入する。
イ 注入するときはゆっくりと押し込み、注入が終わったら放出部をゆっくりと抜き取る。
ウ 薬液を注入した後すぐに排便を試みると、薬液のみが排出されて効果が十分得られないことから、便意が強まるまでしばらく我慢する。
エ 半量等を使用する用法がある場合、残量は密封して冷所に保存すれば次回も使用できる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	誤

【主な医薬品とその作用】

問 79

貧血用薬（鉄製剤）に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 消化器系への副作用を軽減するためには、食後に服用することが望ましい。
- イ 貧血の症状がみられる以前から、予防的に使用することが望ましい。
- ウ 食生活を改善し、かつ鉄製剤の使用を2週間程度続けても貧血の症状の改善がみられない場合には、出血性の疾患による慢性的な血液の損失が原因の可能性はある。
- エ 服用の前後30分に、タンニン酸を含む飲食物の摂取を控えることとされている。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	誤	正

問 80

外用痔疾用薬に配合される以下の成分と、その期待される作用の関係について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	成分	作用
ア	グリチルレチン酸	－ 抗炎症
イ	メントール	－ 鎮痒 ^{よう}
ウ	アルミニウムクロロヒドロキシアラントイネート	－ 局所麻酔
エ	塩酸テトラヒドロゾリン	－ 殺菌消毒

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 8 1

婦人薬及びその配合成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア エストラジオールは、妊婦又は妊娠していると思われる女性は使用を避ける必要がある。
イ オウレンは、鎮痛鎮痙^{けい}作用、鎮静作用を示し、内臓の痛みにも用いられる。
ウ 胃腸症状に対する効果が期待されるダイオウは、吸収された成分の一部が乳汁中に移行するため、使用期間中の授乳を避ける必要がある。
エ 妊娠・授乳期の体力低下時におけるビタミン補給を目的としても摂取されるシアノコバラミンは、摂取により尿が黄色くなることがある。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問 8 2

抗ヒスタミン成分の副作用に関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

抗ヒスタミン成分は、全身的に作用してヒスタミンの働きが抑えられると、眠気が促される。その作用以外に(ア)も示すため、排尿困難や口渇、(イ)等の副作用が現れることがある。

また(ウ)については、まれに重篤な副作用としてショック(アナフィラキシー)、肝機能障害、血小板減少を生じることがある。

- | | ア | イ | ウ |
|---|----------|----|-----------|
| 1 | 抗コリン作用 | 便秘 | メキタジン |
| 2 | アドレナリン作動 | 便秘 | メキタジン |
| 3 | 抗コリン作用 | 下痢 | 塩酸トリプロリジン |
| 4 | アドレナリン作動 | 下痢 | 塩酸トリプロリジン |
| 5 | 抗コリン作用 | 便秘 | 塩酸トリプロリジン |

【主な医薬品とその作用】

問 8 3

鼻炎薬に配合される成分と主な作用に関する以下の関係の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	成分	主な作用
ア	マレイン酸クロルフェニラミン	－ 局所麻酔作用により、鼻粘膜の過敏性や痛みや痒み ^{かゆ} を抑える。
イ	クロモグリク酸ナトリウム	－ 肥満細胞からヒスタミンの遊離を抑え、鼻アレルギー症状を緩和する。
ウ	塩酸ナファゾリン	－ 交感神経系を刺激して鼻粘膜を通っている血管を収縮させ、鼻粘膜の充血や腫れ ^は を和らげる。
エ	塩化ベンゼトニウム	－ 陽性界面活性成分であり、鼻粘膜を清潔に保ち、細菌による二次感染を防止する。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	正
5	誤	誤	誤	誤

【主な医薬品とその作用】

問 8 4

眼科領域及び眼科用薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 目を酷使すると、アセチルコリンを分解する酵素（コリンエステラーゼ）の働きが弱くなるため、目の調節機能が低下し、目の疲れやかすみといった症状を生じる。
- イ 細菌感染（ブドウ球菌や連鎖球菌）による結膜炎やものもらい、眼瞼炎などの化膿性の症状の改善を目的として使用されるサルファ剤には、ウイルスや真菌の感染に対する効果はない。
- ウ 点眼薬 1 滴の薬液の量は、結膜囊の容積よりも少ないため、一度に数滴点眼すると薬液が結膜囊内に行き渡り、より高い効果が得られる。
- エ 一般用医薬品の点眼薬には、緑内障の症状を改善できるものはない。

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 8 5

外用薬に配合される成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 塩化カルプロニウムは、末梢組織においてコリン作用を示し、頭皮の血管を拡張、毛根への血行を促すことによる発毛効果を期待して用いられる。

イ 硝酸ミコナゾールは、皮膚糸状菌の細胞膜を構成する成分の産生を妨げたり、細胞膜の透過性を変化させることにより、その増殖を抑える。

ウ イオウは、皮膚の角質層を構成するケラチンを変質させることにより、角質軟化作用を示す。

エ ヘパリン類似物質は、切り傷、擦り傷などの創傷面からの出血を抑えることを目的として用いられる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	誤

問 8 6

以下の殺菌消毒薬に配合される成分のうち、結核菌を含む一般細菌類、真菌類、ウイルスに対して殺菌消毒作用を示すものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 ポピドンヨード
- 2 オキシドール
- 3 アクリノール
- 4 グルコン酸クロルヘキシジン
- 5 マーキュロクロム

【主な医薬品とその作用】

問 8 7

禁煙補助剤（^{そしやく}咀 嚼 剤）に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 大量に使用しても禁煙達成が早まるものでなく、かえってニコチン過剰摂取による副作用のおそれがあるため、1度に2個以上の使用は避ける必要がある。
- 2 口腔内がアルカリ性になるとニコチンの吸収が低下するため、口腔内をアルカリ性にする食品を摂取した後しばらくは使用を避けることとされている。
- 3 禁煙補助剤は長期間に渡って使用されるべきものでなく、使用期間は3ヶ月を目途とし、6ヶ月を超える使用は避けることとされている。
- 4 ニコチンは交感神経系を興奮させる作用を示し、アドレナリン作動成分が配合された医薬品（鎮咳去痰薬、^{がい たん}鼻炎用薬、^じ痔疾用薬等）との併用により、その作用を増強させるおそれがある。

問 8 8

以下の記述に当てはまるビタミン成分として、最も適切なものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

腸管でのカルシウム吸収及び尿細管でのカルシウム再吸収を促して、骨の形成を助ける栄養素であるが、過剰症として、高カルシウム血症、異常石灰化が知られている。

- 1 ビタミンA
- 2 ビタミンB1
- 3 ビタミンB12
- 4 ビタミンC
- 5 ビタミンD

【主な医薬品とその作用】

問 89

漢方処方製剤及び患者の証（体質及び症状）に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア しょうさいことう 小柴胡湯とインターフェロン製剤の相互作用のように、医療用医薬品との相互作用も知られている。
- イ 漢方処方を構成する生薬には、複数の処方で共通しているものもあり、同じ生薬を含む漢方処方製剤が併用された場合、作用が強くなり、副作用を生じやすくなる恐れがある。
- ウ 実証とは、体内の臓器を働かせるエネルギーの貯蔵量が少ない体質（体力の衰えている人、体の弱い人）のことを言う。
- エ 用法用量において適用年齢の制限が設けられていない場合は、どの年齢でも使用することができることとなっている。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問 90

以下の記述に当てはまる漢方処方製剤として最も適切なものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

虚弱体質で肩がこり、疲れやすく、精神不安等の精神神経症状、ときに便秘の傾向のある女性における冷え症、虚弱体質、月経不順、月経困難、更年期障害、血の道症に適すとされる。

- 1 しょうふうさん 消風散
- 2 とうきいんし 当帰飲子
- 3 かみしょうようさん 加味逍遙散
- 4 かつこんとうかせんきゅうしんい 葛根湯加川芎辛夷
- 5 じゅうみはいどくとう 十味敗毒湯

【主な医薬品とその作用】

問 9 1

殺虫成分とその解説に関する以下の関係の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	殺虫成分	解説
ア	有機リン系殺虫成分	ー コリンエステラーゼと不可逆的に結合して、その働きを阻害する。
イ	有機塩素系殺虫成分	ー 主な成分として、ペルメトリン、フェノトリン、フタルスリン等がある。
ウ	ピレスロイド系殺虫成分	ー 昆虫の脱皮や変態を阻害する作用を有する成分で、有機リン系殺虫成分に対して抵抗性を示す場合にも効果がある。
エ	カーバメイト系殺虫成分	ー 残留性や体内蓄積性の問題から、現在ではオルトジクロロベンゼンがウジ、ボウフラの防除の目的で使用されているのみとなっている。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	正	正

【主な医薬品とその作用】

問 9 2

妊娠検査薬に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 検体としては、尿中のヒト^{じゅう}絨毛性性腺^{せん}刺激ホルモン（hCG）が検出されやすい食後（1～2時間）の尿が向いている。
- 2 一般的な妊娠検査薬は、月経予定日前の検査が推奨されている。
- 3 尿中hCGの検出反応は、hCGと特異的に反応する抗体や酵素を用いた反応であるため、高温の影響を受けるが、低温の影響は受けにくく、使用直前まで冷蔵庫で保管しても検査に支障はない。
- 4 経口避妊薬や更年期障害治療薬などのホルモン剤を使用している人では、妊娠していなくても尿中hCGが検出されることがある。

問 9 3

以下の点眼薬に配合される成分のうち、炎症を生じた眼粘膜の組織修復を促すことを目的として配合されるものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 グリチルリチン酸二カリウム
- 2 アズレンスルホン酸ナトリウム
- 3 ヒドロキシプロピルメチルセルロース
- 4 スルファメトキサゾール
- 5 ヒアルロン酸ナトリウム

【主な医薬品とその作用】

問 9 4

以下の皮膚に用いる薬の配合成分について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 副腎皮質ホルモンと共通する化学構造を持ち、炎症を抑える作用を示す。
- イ 皮膚に温感刺激を与え、末梢血管を拡張させて患部の血行を促す効果がある。
- ウ 創傷面の痛みや、皮膚の^{かゆ}みを和らげることを目的とする局所麻酔成分である。

	ア	イ	ウ
1	酢酸プレドニゾロン	カプサイシン	アラントイン
2	ピロキシカム	カプサイシン	アラントイン
3	酢酸プレドニゾロン	カプサイシン	リドカイン
4	ピロキシカム	メントール	リドカイン
5	酢酸プレドニゾロン	メントール	アラントイン

【主な医薬品とその作用】

問95

歯槽膿漏^{そうのうろう}薬に含まれる成分と期待される効果に関する以下の関係の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	成分	効果
ア	カミツレ	－ 止血
イ	塩化セチルピリジニウム	－ 殺菌消毒
ウ	イソプロピルメチルフェノール	－ 殺菌消毒
エ	カルバゾクロム	－ 止血

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	正
5	誤	誤	誤	誤

問96

滋養強壯保健薬に配合される成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア ガンマ-オリザノールは、ビタミンCの吸収を助ける作用がある。
- イ コンドロイチン硫酸は、軟骨組織の主成分で、軟骨成分を形成及び修復する働きがある。
- ウ グルクロノラクトンは、肝臓の働きを助け、肝血流を促進する働きがある。
- エ ヘスペリジンは、抗酸化作用を示す成分で、ビタミンEと組み合わせて配合されている場合がある。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 9 7

外皮用薬及びその使用方法に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 一般的に、表皮の角質層が柔らかくなることで有効成分が浸透しやすくなることから、入浴後に用いるのが効果的である。

イ 中黄膏は、急性化膿性皮膚疾患（腫れ物）の初期、打ち身、捻挫に適すとされるが、傷口が化膿している場合、患部が広範囲の場合には不向きとされる。

ウ みずむし薬の剤型は、じゅくじゅくと湿潤している患部には、液剤が適すとされる。

エ インドメタシンは、過度に使用しても鎮痛効果が増すことはなく、またその場合の安全性は確認されていないため、まとめ買いや頻回に購入する購入者に対して、注意を促していくことが重要である。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	誤	正

問 9 8

以下の漢方処方製剤のうち、構成生薬としてカンゾウを含むものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 辛夷清肺湯
- 2 半夏厚朴湯
- 3 当归芍薬散
- 4 桂枝茯苓丸
- 5 防風通聖散

【主な医薬品とその作用】

問 9 9

公衆衛生用薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 蚊の成虫の防除では、医薬品の殺虫剤も用いられるが、一般家庭においては、調製を要せずにそのまま使用できる医薬部外品の殺虫剤が用いられることが多い。

イ 忌避剤には、虫さされによる痒^{かゆ}みや腫^はれなどの症状を和らげる効果はない。

ウ 噴霧剤とは、空間噴射の殺虫剤のうち、容器中の医薬品を煙状又は霧状にして一度に全量放出させるものである。

エ 殺菌・消毒は、物質中のすべての微生物を殺滅又は除去するために行われる処置である。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問100

アレルギー用薬に含まれる成分と注意を要する事象に関する以下の関係の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	成分	注意を要する事象
ア	マレイン酸クロルフェニラミン	－ 服用後は乗物又は機械類の運転操作を避ける。
イ	塩酸プソイドエフェドリン	－ 前立腺肥大による排尿困難の症状がある人は使用を避ける。
ウ	クロモグリク酸ナトリウム	－ 減感作療法の妨げになることがある。
エ	ヨウ化イソプロパミド	－ 排尿困難の症状がある人は、症状の悪化を招くおそれがある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	誤	正

【薬事関係法規・制度】

問101

薬局に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 薬局では、医薬品の調剤と併せて、店舗により医薬品の販売を行うことが認められている。
- 2 調剤を実施する薬局は、医療法の規定により医療提供施設として位置づけられている。
- 3 医薬品を取り扱う場所であって、薬局として開設の許可を受けていないものについては、病院又は診療所の調剤所を除き、薬局の名称を付してはならない。
- 4 薬局の管理者は、薬剤師又は登録販売者でなければならない。

問102

薬局に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 薬局は、その所在地の都道府県知事の許可を受けなければ、開設してはならない。
- 2 薬局の管理者は、保健衛生上支障を生ずるおそれがないよう、その薬局に勤務するその他の従業者を監督するなど、薬局の業務につき、必要な注意をしなければならず、薬局開設者に対して必要な意見を述べなければならない。
- 3 薬局開設者は薬剤師でなければならない。
- 4 薬局開設者は、当該薬局を利用するために必要な情報を、当該薬局の見やすい位置に掲示しなければならない。

【薬事関係法規・制度】

問103

店舗販売業に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 店舗販売業者は、その店舗管理者の意見を尊重しなければならない。
- イ 店舗販売業では、管理者が薬剤師であれば、調剤を行うことができる。
- ウ 店舗販売業の許可は、店舗ごとに、その店舗の所在地の都道府県知事（その店舗の所在地が保健所を設置する市又は特別区の区域にある場合においては、市長又は区長）が与える。
- エ 店舗販売業では、医療用医薬品を取扱うことができる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問104

医薬品の販売業に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 医薬品の販売業は、店舗販売業、配置販売業又は卸売販売業の三種類に分けられる。
- イ すべての医薬品販売業者は、一般の生活者に対して一般用医薬品を販売することができる。
- ウ 店舗販売業者は、配置販売業の許可を併せて受けることができない。
- エ 配置販売業者は、配置以外の方法により、医薬品を販売又は授与することができない。

- | | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 誤 | 誤 |
| 5 | 誤 | 誤 | 正 | 正 |

【薬事関係法規・制度】

問105

配置販売業に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 配置販売業の許可は、一般用医薬品を、配置により販売又は授与する業務について、配置しようとする区域をその区域に含む都道府県ごとに、その都道府県知事が与える。
- イ 配置販売業者は、購入者の居宅等に医薬品を予め預けておき、購入者がこれを使用した後でなければ代金の請求はできない。
- ウ 配置販売業の区域管理者は登録販売者でなければならない。
- エ 配置販売業者又はその配置員は、その住所地の都道府県知事が発行する身分証明書の交付を受けていれば、これを携帯しなくても医薬品の配置販売に従事することができる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問106

医薬品の販売に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 店舗販売業においても、薬局と同様、医薬品が保健衛生上遺漏なく販売等されるよう、その業務を適正に運営するための仕組みが設けられている。
- 2 薬局と店舗販売業では、不特定の購入者への販売に供するため予め分包しておくことができる。
- 3 配置販売業では、医薬品を開封して分割販売することは禁止されている。
- 4 一般用医薬品の販売時においては、リスク区分に応じた情報提供が適切に行われる必要があり、対面販売が原則となっている。

【薬事関係法規・制度】

問107

医薬品に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 日本薬局方に収められている物は、すべて医療用医薬品である。
- イ 必要な承認を受けずに製造販売された医薬品の販売等は禁止されているが、罰則規定はない。
- ウ 異物が混入し、又は付着している医薬品は販売してはならない。
- エ 医薬品の容器又は被包は、その医薬品の使用方法を誤らせやすいものであってはならない。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問108

食品に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 食品とは、医薬品及び医薬部外品以外のすべての飲食物をいう。
- イ 特定保健用食品とは、身体の生理学的機能等に影響を与える保健機能成分を含む食品で、特定の保健の用途に資する旨の表示が許可されたものである。
- ウ 健康食品とは、1日当たりの摂取目安量に含まれる栄養成分量が、定められた上・下限値の規格基準に適合している食品のことである。
- エ 特別用途食品と特定保健用食品を総称して保健機能食品という。

- | | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 3 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 4 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 5 | 誤 | 誤 | 正 | 誤 |

【薬事関係法規・制度】

問109

医薬品の範囲に関する基準（昭和46年6月1日付け薬発第476号厚生省薬務局長通知の別紙）において、医薬品に該当する要素に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア アンプル剤や舌下錠、口腔内噴霧剤等、医薬品的な形状であること
- イ 成分本質（原材料）が、専ら医薬品として使用される成分本質を含むこと（食品添加物と認められる場合を除く。）
- ウ 医薬品的な効能効果が標榜^{ぼう}又は暗示されていること（製品表示や添付文書によるほか、チラシ、パンフレット、刊行物、インターネット等の広告宣伝物等による場合も含む。）
- エ 服用時期、服用間隔、服用量等の医薬品的な用法用量の記載があること（調理のために使用方法、使用量等を定めている場合を除く。）

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	誤	正

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 0

以下の記述は、薬事法第2条第2項で規定される医薬部外品の定義の条文の一部である。()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

この法律で「医薬部外品」とは、次に掲げる物であつて人体に対する作用が緩和なものをいう。

一 次のイからハまでに掲げる目的のために使用される物（これらの使用目的のほかに、併せて前項第二号又は第三号に規定する目的のために使用される物を除く。）であつて機械器具等でないもの

イ (ア) その他の不快感又は口臭若しくは体臭の防止

ロ (イ)、ただれ等の防止

ハ 脱毛の防止、育毛又は (ウ)

	ア	イ	ウ
1	めまい	あせも	発毛
2	吐きけ	肌荒れ	除毛
3	吐きけ	あせも	発毛
4	めまい	肌荒れ	除毛
5	吐きけ	あせも	除毛

問 1 1 1

化粧品に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 化粧品においては、厚生労働大臣の承認を得れば、医薬品的な^{ぼう}効能効果を表示・標榜することができる。

イ 化粧品の成分本質（原材料）について、原則として医薬品の成分を配合してはならない。

ウ 化粧品を業として製造販売する場合には、通常、製造販売業の許可と品目ごとの許可を受けなければならない。

エ 一般小売店において化粧品を販売する場合には、医薬品のような販売業の許可は必要ない。

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 2

一般用医薬品に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 用法に関して、注射等の侵襲性の高い使用方法は用いられておらず、人体に直接使用されない検査薬においても、検体の採取に身体への直接のリスクを伴うものは、一般用医薬品として認められていない。
- イ 用量に関して、医薬品を使用する一般の生活者の判断により、適宜増減することが認められている場合が多い。
- ウ 効能効果の表現に関して、通常、診断疾患名で示されている。
- エ 医師等の診療によらなければ一般に治癒が期待できない疾患（例えば、がん、糖尿病、心臓病等）に対する効能効果は、認められていない。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	正

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 3

毒薬又は劇薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 毒薬は、その直接の容器又は直接の被包に、黒地に白枠、白字をもって、その品名及び「毒」の文字が記載されていなければならない。

イ 劇薬は、その直接の容器又は直接の被包に、赤地に白枠、白字をもって、その品名及び「劇」の文字が記載されていなければならない。

ウ 業務上毒薬又は劇薬を取り扱う者は、それらを他の物と区別して貯蔵、陳列しなければならない。特に毒薬を貯蔵、陳列する場所については、かぎを施さなければならない。

エ 毒薬又は劇薬を、18歳未満の者その他安全な取扱いに不安のある者に交付することは禁止されている。

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 4

一般用医薬品のリスク区分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 一般用医薬品は、その保健衛生上のリスクに応じて、第一類医薬品から第三類医薬品に区分されている。

イ 第三類医薬品は、副作用等により身体の変調・不調が起こるおそれのない医薬品である。

ウ 一般用医薬品は、各製品の外箱等に、当該医薬品が分類されたリスク区分ごとに定められた事項を記載することが義務づけられている。

エ 安全性に関する新たな知見や副作用の発生状況等を踏まえ、リスク区分は適宜見直しが行われている。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	誤	誤

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 5

一般用医薬品の情報提供に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 薬局開設者又は店舗販売業者は、その薬局又は店舗において第一類医薬品を販売又は授与する場合には、医薬品の販売又は授与に従事する薬剤師をして、書面を用いて、その適正な使用のために必要な情報を提供させなければならない。
- 2 薬局開設者又は店舗販売業者は、その薬局又は店舗において第二類医薬品を販売又は授与する場合には、医薬品の販売又は授与に従事する薬剤師又は登録販売者をして、その適正な使用のために必要な情報を提供させるよう努めなければならない。
- 3 第一類医薬品を購入し、又は譲り受ける者からその適正な使用のために必要な情報について、説明を要しない旨の意思の表明があったときには、情報提供をしてはならない。
- 4 薬局開設者又は店舗販売業者は、医薬品の購入者若しくは使用者から相談があった場合には、医薬品の販売又は授与に従事する薬剤師又は登録販売者をして、その適正な使用のために必要な情報を提供させなければならない。

問 1 1 6

以下の事項のうち、一般用医薬品の容器等に記載が義務づけられていないものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 製造販売業者等の氏名又は名称及び住所
- 2 名称
- 3 製造年月日
- 4 重量、容量又は個数等の内容量
- 5 製造番号又は製造記号

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 7

一般用医薬品の販売広告に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 一般用医薬品の販売広告としては、製薬企業等の依頼によりマスメディアを通じて行われるもののほか、薬局、店舗販売業又は配置販売業において販売促進のため用いられるチラシ、ダイレクトメール、ポスターやディスプレイ等も含まれる。
- 2 承認されている効能効果のうち、一部のみを抽出した広告を行うことは、ある疾病や症状に対して特に優れた効果を有するかのような誤認を与えるおそれがある。
- 3 一般用医薬品と同じ有効成分を含有する医療用医薬品の効能効果をそのまま標榜^{ぼう}することは、承認されている内容を正確に反映した広告といえない。
- 4 使用前・使用後を示した図面・写真等を掲げることは、消費者に対してわかりやすい表現として推奨されている。

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 8

一般用医薬品の販売方法に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 医薬品に、キャラクターグッズ等の景品類を提供して販売することは、不当景品類及び不当表示防止法の限度内であっても認められていない。

イ 医薬品を懸賞や景品として授与することは、サンプル品を提供するような場合を除き、原則として認められていない。

ウ 在庫処分の目的で、医薬品を組み合わせで販売することは、認められていない。

エ 効能効果が重複するような医薬品を組み合わせで販売することは、購入者の利便性向上のため推奨されている。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	正
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	誤	正

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 9

以下のうち、都道府県知事が命じることのできる処分として誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 薬局開設者又は医薬品の販売業者（配置販売業を除く。）に対して、構造設備が基準に適合しなくなった場合に、構造設備の改善を命じ、又はその改善がなされるまでの間、当該施設の全部若しくは一部の使用を禁止すること。
- 2 薬局開設者又は医薬品の販売業者に対して、一般用医薬品の販売等を行うための業務体制が基準に適合しなくなった場合において、その業務体制の整備を命ずること。
- 3 薬局の管理者又は店舗管理者若しくは区域管理者に対して、その者に薬事に関する法令又はこれに基づく処分に違反する行為があったとき、又はその者が管理者として不適当であると認めるときに、その薬局開設者又は医薬品の販売業者に対して、その管理者の解雇を命ずること。
- 4 配置販売業の配置員が、その業務に関し、薬事に関する法令又はこれに基づく処分に違反する行為があったときに、その配置販売業者に対して、期間を定めてその配置員による配置販売の業務の停止を命ずること。

問 1 2 0

以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 配置販売業者又はその配置員は、医薬品の配置販売に従事したときは、その氏名、配置販売に従事する区域その他厚生労働省令で定める事項を、三十日以内に、配置販売に従事した区域の都道府県知事に届け出なければならない。
- 2 店舗販売業者は、一般の生活者に対して毒薬又は劇薬を販売又は譲渡する際には、当該医薬品を譲り受ける者から、品名、数量、使用目的、譲渡年月日、譲受人の氏名、住所及び職業が記入され、署名又は記名押印された文書の交付を受けなければならない。
- 3 第二類医薬品は、その副作用等により日常生活に支障を来す程度の健康被害が生ずるおそれがある医薬品（第一類医薬品を除く。）であって厚生労働大臣が指定するものである。
- 4 生物由来製品は、製品の使用による感染症の発生リスクに着目して指定されるが、現在のところ、生物由来製品として指定された一般用医薬品はない。